

氷上の祭典

第22回 日光国体終わる

皇太子ご夫妻をお迎えし

はなばなしく熱戦を展開

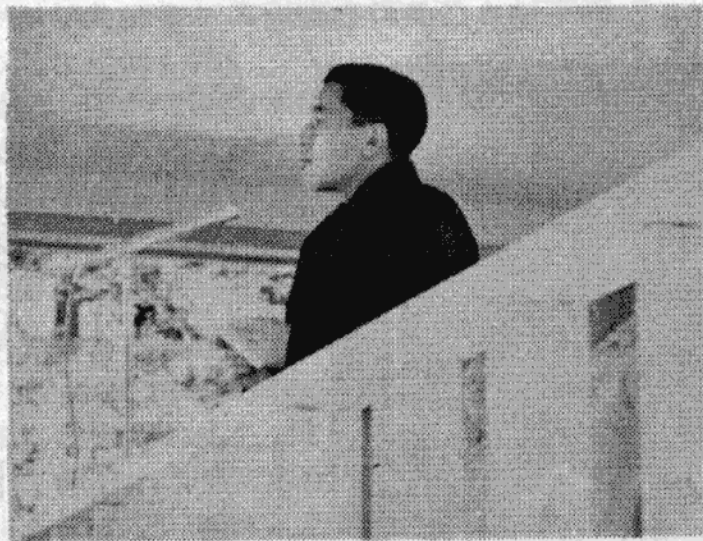
第十六回全国高等学校スケート競技選手権大会に引き続いて開かれた第二十二回国民体育大会冬季大会スケート競技会は、一月二十六日、皇太子殿下ご夫妻をお迎えして日光小学校で開会式を行ない、日光スケートセンターを中心に四日間わたる熱戦をくりひろげました。

大会期間中、気温の上昇や悪天候になやまされましたが、バイキングリンクをふるに活用して行なうなど大会運営はスムーズにはこぼれ好評のうちに幕を閉じました。

さて、競技の成績は郷土選手も大活躍をみせ、天皇杯(男子総合)では北海道が二年連続、通算二度目の優勝を果たし、栃木県は五位に入賞、また、皇后杯(女子総合)ではフィギュアに強い大阪が東京の追撃をかわして四連覇、栃木県は七位にくいこむ健闘をみせました。

一、五〇〇人のデレゲーション

はなやかに開会式を展開



皇太子殿下からおことはまされる

開会式は定刻の午後二時一分

と姿をみせるなかに三発の花火が青空にとどろくと、自衛隊音楽隊と地元日高吹奏楽部が奏する行進曲に合わせて入場行進を開始。日高スケート部六人の奉持する日章旗を先頭に大会旗が入場、このあと役員に引き続き福岡県を先頭に愛媛、広島、順に二四都道府県の役員、選手団が入場、栃木県は北海道に続いて二四番目に入場、総計一、五〇〇人の大デレゲーションの行進が開会式場の日光小学校校庭を埋めつくしました。

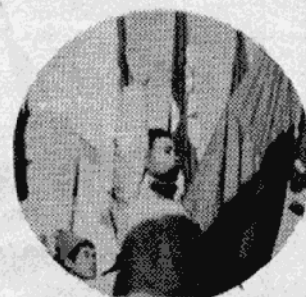
朝から曇一つ朝から曇一つ

ない快晴に恵ま

が終わり、二時二十分、横川栃木県知事が力強い声で開会を宣言、大会会長、文部大臣らの挨拶、佐々木日光市長らの歓迎のことばがあったのち、皇太子殿下が式壇にお立ちになり「札幌オリンピックがきまった初年度の大会として意欲深いものがある。日ごろきたえた実力を十分

力強い宣誓をする入江選手

に發揮するよう」とのおことばがありました。続いて、栃木県の代表入江選手が堂々の宣誓を行ない、ここに開会式はとどおりなく終わったのです。



皇太子殿下ご夫妻開会式場へ